様式第４８（第８８条関係）

|  |  |
| --- | --- |
| ×整理番号 |  |
| ×受理年月日 | 年　　月　　日 |

　　　　年　　月　　日

　天童市消防長　殿

氏名又は名称及び

法人にあっては

その代表者の氏名

住　　　　　　所

　液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第３８条の３の規定により、次のとおり届け出ます。

|  |  |
| --- | --- |
| 工事に係る供給設備又は消費設備の所在地 |  |
| 当該設備の所有者又は占有者の氏名又は名称 |  |
| 当該設備の使用目的 |  |
| 貯蔵設備の貯蔵能力 |  |
| 工事の内容 |  |

（備考）１　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。

 ２　×印の項は記載しないこと。

　　　　３　氏名（法人にあってはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、

　　　　　署名することができる。この場合において、署名は必ず本人が自署するものと

　　　　　する。

|  |
| --- |
| (注)１．容器による貯蔵能力が、500kgを超え1,000kg未満のときは、様式第１号、第４号から第６号を、1,000kg以上3,000kg未満のときは、様式第１号、第２号、第４号から第６号を添付すること。（貯蔵能力：規則第86条に係る施設又は建築物の貯蔵設備の貯蔵能力をいう。）２．バルク貯槽による貯蔵能力が、500kgを超え1,000kg未満のときは、様式第１号、第３号から第６号を添付すること。（貯蔵能力：容器の場合と同じで、規則第86条関係施設等での貯蔵能力をいう。） |
|

　**様式第１号**

 **工事の内容等**

|  |  |
| --- | --- |
| 工事の種類 | １．新設 ２．変更(供給管の延長・貯蔵設備の位置の変更・貯蔵能力の増加) |
| 工事従事者氏　　　名 | 氏　　名 | 設備士免状番号 | 氏　　名 | 設備士免状番号 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 完 成 検 査実 施 者 名 |  |
| 気 密 試 験結 　　　果 | 供給管等内容積 | 圧　　　力 | 気密試験保持時間 |
| ㍑ | kPa | 分 |
| 貯蔵設備 | 火気の種類及び距離 | 種　類 |  | 距　離 | ｍ |
| 腐食防止措置 | 有　・　無 |
| 転落、転倒防止措置 | 鎖　　・　ロープ　・　その他（　　　　　　　　　　　） |
| ４０℃以下対策 | 屋根　・　遮へい板　・　その他（　　　　　　　　　　） |
| 調整器メーカー・型式 |  |
| 供給管 | 高圧部 材質 |  |
| 中圧部 材質 |  |
| 低圧部 材質 | 埋設管 |  | 露出管 |  |
| 気 化 装 置 | 有　・　無 | ガス発生能力 | kW |
| 安 全 装 置 | １ | マイコンメータ（Ｓ、Ｈ、ＳＢ、Ｅ、ＥＢ、Ｓ４、Ｅ４） |
| ２ | 対震自動ガス遮断装置 |
| ３ | ガス漏れ警報器連動ガス遮断装置 |
| ４ | 圧力検知式漏えい検知装置 |
| ５ | 流量検知式切替型漏えい検知装置 |
| ６ | 流量検知式圧力監視型漏えい検知装置 |

　**様式第２号**

 **供給設備の技術上の基準**

 （容器による貯蔵で、貯蔵能力が1,000kg以上3,000kg未満及び貯槽による貯蔵で、貯蔵能力が

500kgを超え1,000kg未満のときに添付）

|  |  |
| --- | --- |
|  １．保安距離 |  ①第１種保安距離(法定16.97ｍ・障壁設置 0ｍ) 実際　　　　　 ｍ 保安物件の名称　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　  ②第２種保安距離(法定11.31ｍ・障壁設置 0ｍ) 実際　　　　　 ｍ 保安物件の名称　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　  |
|  ２．障壁 |  ①障壁の構造　材料　　　　　　寸法（高さ）　　cm（厚さ）　 cm ②扉の構造 材料　　　　　　　　　　　　（厚さ）　　　　 cm ③扉の補強 等辺山形鋼(枠)　　mm×　　mm　(内)　　mm×　 mm 間隔　　　(縦)　　　　　　cm　(横)　　　　　 cm |
|  ３．火気等との距離 |  ①火気等の種類　　　　　　　　　　　火気等との距離　　　　 ｍ ②火気距離が５ｍ未満　障壁（材料）　　　　　(高さ)　　　　 ｍ |
|  ４．滞留防止 |  ①貯蔵設備面積　　　　　　 ㎡　 法定換気口面積　　　　　　 cm２ ②実際の換気口面積　　　　 cm２ |
|  ５．さく､へい等の設置 |  ①さく、へい等の種類　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
|  ６．警戒標 |  ①掲示位置　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ②表示内容　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
|  ７．消火設備 |  ①粉末消火器　Ａ　　　Ｂ　　　×　　　個 ②その他　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
|  ８．軽量な屋根等 |  ①屋根の場合その材料　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ②遮へい板の場合その材料　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
|  ９．転倒防止等の措置 |  ①貯蔵設備の床は水平で、かつ上から物が落ちる恐れがないようにする｡ ②転倒防止チェーンによる転倒防止措置を講ずる。 |
|  10．腐食防止措置 |  ①容器は十分に防錆塗装がされたものを使用する。 ②貯蔵設備は排水のよい構造とし、容器の底部を乾きやすくする。 |

　**様式第３号**

 **バルク供給に係る供給設備の技術上の基準**

 （バルク貯槽による貯蔵で、貯蔵能力が500kgを超え1,000kg未満のときに添付）

|  |  |
| --- | --- |
|  １．貯槽の設備状況 |  地盤面上　　　・　　　地盤面下 |
|  ２．貯槽の適合性 |  特定設備検査合格証　　・　　特定設備基準適合証 |
|  ３．保安距離 |  ①第１種保安距離（法定1.5ｍ 構造壁等又は埋設設置 0ｍ） 実際距離　　　　 ｍ　保安物件の名称  ②第２種保安距離（法定1.0ｍ 構造壁等又は埋設設置 0ｍ） 実際距離　　　　 ｍ　保安物件の名称  |
|  ４．構造壁等 |  壁の構造　材料　　　　　　 寸法（高さ）　　　ｍ（幅）　　　ｍ |
|  ５．貯槽の表示 |  ＬＰガス及び火気厳禁(朱書き)､緊急連絡先の表示の有無 有・無 |
|  ６．腐食防止措置 |  下地処理・錆止め塗装等の有無　　　　　　　　　　　 有 ・ 無 |
|  ７．転倒防止等措置 |  支柱又はサドル等取付けの有無　　　　　　　　　　　 有 ・ 無 |
|  ８．プロテクター内のガス漏れ検知器の設置等 |  ガス漏れ検知器の設置の有無　　　　　　　　　　　　 有 ・ 無 常時監視システム設置の有無　　　　　　　　　　　　 有 ・ 無 |
|  ９．火気距離 |  ①火気等の種類 火気等との距離 　　　 ｍ ②火気距離が２ｍ以内　防火壁等の設置の有無　　　　　 有 ・無 |

　**様式第４号**

貯 蔵 設 備 の 付 近 見 取 図

|  |  |
| --- | --- |
|  販売店（供給業者）の名称 | 　 |
|  〃 所在地 | 　 |
|  所有者等の氏名又は名称 | 　 |
|  供給設備等の所在地 | 　 |
| ５万分の１＊の地図を貼付し最寄駅等より貯蔵設備への経路、貯蔵設備の位置を明示（＊地図の縮尺は５万分の１を原則とし、状況等により縮尺を変更することは可。） |
|

　**様式第６号**

貯 蔵 設 備 の 構 造 図

|  |  |
| --- | --- |
|  販売店（供給業者）の名称 | 　 |
|  〃 所在地 | 　 |
|  所有者等の氏名又は名称 | 　 |
|  供給設備等の所在地 | 　 |
| 貯蔵設備の平面図、側面図、障壁の配置図、配管図等を添付 |
|